

矢作川源流の郷 根羽村

親子留学制度のご案内

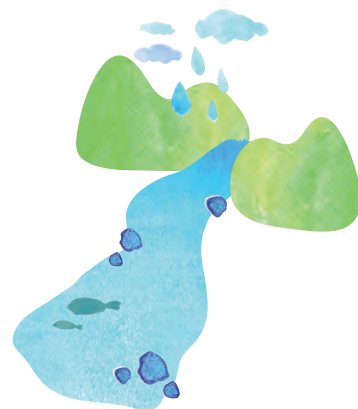
Neba village Family study abroad program



根羽村・根羽村教育委員会・根羽村立義務教育学校根羽学園・根羽保育所



川と森の ふるさとへ 留学してみませんか。



少人数学級のメリットを生かした小中一貫教育 【義務教育学校 根羽学園・根羽保育所】

長野県根羽村は、安城市を流れる矢作川の最上流部に位置し、安城市からは車で約2時間の場所です。

「親子留学」は、親子で一緒に住み、子育ての大切な時期を根羽村で過ごしてもらう制度です。生活の拠点は安城のまま、子どもとお父さん、お母さんどちらかと根羽村に留学します。



保育理念・目標

私たちは、自然とのふれあいや人とのつながりを大切にし、子どもたちが自分らしくのびのびと育つ保育を目指しています。

➤ 保育目標

- あいさつや思いを伝えあえる子ども
- 自然の中で夢中になって遊ぶ子ども
- 自分で考えて行動できる子ども
- 食事を喜び、楽しく食べる子ども

特色ある活動

やま保育活動

根羽村の豊かな自然を活かした保育です。源流歩きや雪山探検、野菜の販売などを通して、五感を育みます。

英語活動

歌や遊びで英語に親しみ、異文化とのふれあいから多様性を自然に学びます。

畑活動

土にふれ、野菜を育て、収穫し、給食で食べて喜びを感じながら、命や食の大切さを学びます。

季節の行事

ひな祭り、七夕、運動会、クリスマス会など、四季の行事や伝統行事を大切にした保育を行っています。

運動教室

体を使って遊びながら、運動の基礎となる力やバランス感覚を育てます。

親子教室

交通安全、歯みがき、お絵かきなど親子で一緒に学ぶ時間を大切にしています。



9年間の一貫した 「根羽村立義務教育学校 根羽学園」



「根羽村立義務教育学校根羽学園」は、
令和2年度に小学校と中学校を統合し、義務教育学校になりました。
少人数のよさを活かしたきめ細かな指導により、確かな学力と個々の能力を伸ばし、主体的、
探究的に学ぶことで義務教育終了とともに「自立」できることを目標にしています。

教育理念

- 1 少人数を活かした丁寧な指導による基礎学力の充実
- 2 主体性を発揮して学ぶ、9年間の見通しを持った学習
- 3 豊かな自然・人材を活用して、地域全体で子供を育てる教育環境

特色ある活動

- SDGs(持続可能な開発目標)を取り入れた学習を通じ、身近な日常の問題を解決する取り組みを授業に取り入れています。令和7年度からユネスコスクール校として活動しています。また、長野県SDGsアワードにおいて優秀賞を受賞しました。
- 「自炊弁当の日」など「自立」に向けて「生きる力」を育てます。
- PTA主催で、魚つかみ・釣り大会が全校で行われます。
- 「みどりの少年団」の活動、椎茸栽培など自然環境を活かした体験学習を行います。
- 総合的な学習の時間では、今までに村のPR動画制作、ジビエ料理企画販売、根羽杉のブランド化の計画を実施するなど様々な取り組みを行っています。



子の声

親の声



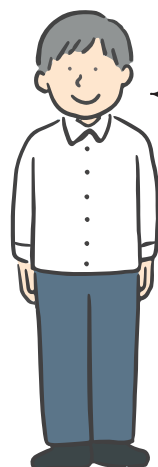
「少人数だからこそ、自分を出せるようになりました」

私は2年前から、根羽村で山村留学をしています。最初に学校に来たときは、「人が少ないな」という印象を受けました。でも、それがこの学校の一番の魅力だと今では感じています。人数が少ないからこそ、一人ひとりの個性が大切にされ、誰もが自分らしく輝ける環境があります。

私の学年では、総合的な学習の時間に「根羽の木を使ったパウンドケーキづくり」に取り組んでいます。この企画は、実は私が提案したもの。仲間とともに1年間かけて続けてきました。以前の私はあまり自分の意見を言えないタイプでしたが、ここでは自然と声を出せるようになり、学校生活がとても楽しくなりました。

そして、毎年楽しみにしているのが「魚つかみ大会」です。矢作川で魚をつかんだり、釣ったりして、みんなで川遊びをしたり、その場で魚を焼いて食べたりします。根羽に来て初めて川魚を食べましたが、海の魚とは違った美味しさがあり、今では夏の楽しみの一つです。

自然の中で、仲間と学び、成長できる。根羽での毎日は、かけがえのない経験の連続です。



「自然と行事が豊かな、唯一無二の場所」

私が根羽村で過ごして「来てよかった」と思う理由はたくさんあります。

1つ目は、ここでしか味わえない多彩な行事です。中でも一番印象に残っているのは、シンガポールへの海外研修です。異国の文化に触れ、仲間と協力して観光や学習を行い、とても貴重な体験になりました。また、矢作川での魚つかみ大会、夏祭り、Eスポーツ大会、村の特産品を販売するイベントなど、地域と関わりながら楽しめる行事もたくさんあります。

2つ目は、根羽村の自然です。空気や水がとてもきれいで、四季の変化を身近に感じることができます。冬には雪が積もり、かまくらを作ったり、大きな雪だるまをつくったりしました。総合的な学習では、根羽の木を使ってケーキをつくり、実際に販売もしました。ケーキづくりや販売では、仲間と何度も話し合いながら改善を重ね、当日は見事に完売することができました。

こうした自然を活かした学びや活動は、他の地域ではなかなか体験できないことばかりです。根羽村は、まさに「唯一無二の学び」ができる場所です。

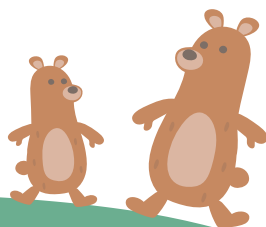
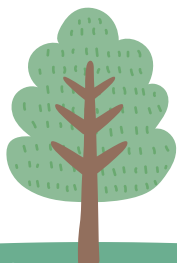


「親子で、新しい暮らしと学びに出会えました」

根羽村に来てまず感じたのは、緑と山に囲まれた自然の心地よさと、地域の人々の温かさでした。生活面（買い物や病院など）に不安もありましたが、実際に暮らしてみると、慣れれば不便さは感じません。学校では保護者も参加できる話し合いの場もあり、子どもたちの教育について皆で考える機会があるのも魅力です。地域と学校の距離が近く、声が届きやすい環境だと感じます。

また、親子で参加できる活動も充実しており、私はダンスやコーラス、バドミントン、畑づくりなど、ここで新しく始めたことがたくさんあります。子どもも最初は環境に戸惑っていましたが、今では他学年との交流を楽しみながら、のびのびと過ごしています。

学年の枠を超えた交流も多く、学園全体が一つの大きな家族のよう。来てみて初めてわかった根羽村の魅力が、今では私たち家族の宝物です。





募集について

1. 募集条件

- (1) 安城市学区内に住民登録がある年少～年長、小学校1年生～中学校3年生までの児童生徒で、親子で根羽村に居住することができる家族
- (2) PTA、地域の活動などにご協力いただける家族
- (3) 集団生活が送れる園児・児童・生徒



2. 募集内容

- (1) 留学の形態 親子での移住
- (2) 募集対象 年少～年長、小学校1年生～中学校3年生
- (3) 募集人数 若干名

3. 助成制度

- (1) 親子で住める住宅を提供します。
 - ・生活に必要な大型家電（冷蔵庫、洗濯機）が備えてあります。
- (2) 生活助成制度
 - ・15,000円の特別助成金を毎月支給します。園児・児童生徒が1人増えるごとに、1,000円を加算します。
- (3) 学校関係支援制度
 - ・漢字・英語検定及び高校受験対策模試受験料などの検定料の80%を補助します。
 - ・村から毎年、誕生日月に自分の選んだ本を「誕生日本」としてプレゼントします。
 - ・給食費無償です。ただし保育園は主食（白米）持参。
- (4) 村民と同じ各種の助成制度が受けられます。
 - ・医療費：村の制度により高校生まで無料です。
 - ・インフルエンザ予防接種補助：無料です。
 - ・地域通貨の支給：村内の商店等で使える「子育て応援券」を子ども1人当たり10,000円、年1回発行します。
- (5) 放課後の児童預かりとして「放課後子ども教室」を利用できます。（1～6年生）
- (6) 高校進学対策・学力アップ・プロジェクト学習を行う村営塾を利用できます。（5～9年生）

*毎年助成制度の見直しがあるため上記補助が受けられない場合もあります。



4. 留学までの手続き

(1) 説明会・問い合わせ

関心のある方は、根羽村教育委員会に連絡をし、募集要項等、親子留学の内容を確認してください。また、「親子留学制度」の説明会を下記▼のとおり開催いたします。説明会では全体説明の他、個別相談も予定しています。お気軽にご参加ください。

日時 令和7年9月13日(土) 午後2:00から

場所 へきしん ギャラクシープラザ 302号 安城市桜町17-11

(2) 体験留学(学校見学・保育園見学)

体験留学を下記の日程で開催するので、留学を希望される方は **必ずご参加** ください。

令和7年10月27日(月)、28日(火) のどちらか1日

体験留学では学校の授業など学校生活の体験、見学、面接などを予定しています。
体験留学の日は平日ですが、安城市教育委員会との協定で登校扱いとなります。
保育園では、月齢に合わせた体験と面接等を予定しています。

(3) お申込み

家族でじっくり話し合い、留学の意思が固まったら、「根羽村親子留学申込書」を根羽村教育委員会へ提出ください。

申込締切：令和7年11月17日(月) 必着

(4) 選考

書類及び体験留学の際のお話をもとに、根羽村、根羽村教育委員会、根羽学園、根羽保育所が協議の上、12月中に留学の可否を決定し、保護者の方にご通知いたします。

(5) 引越し、留学

留学が決定したら転出・転校の準備に取り掛かってください。
転入されてからの手続きなどは、根羽村教育委員会へお問い合わせください。

5. 相談窓口

根羽村教育委員会(0265-49-2111)のほか、相談窓口用のLINE@【根羽親子留学サポートアカウント】を開設します。連絡事項などを配信しますので **必ずご登録** ください。
また、親子留学制度のほか移住や根羽村での生活についてお気軽にご相談ください。





根羽村教育委員会 担当：柳瀬・石森
〒395-0701 長野県下伊那郡根羽村 2131-1
TEL 0265-49-2111 FAX 0265-49-2277
E-mail : kyouiku4102@nebamura.jp